

# 応急手当普及推進員が行う普通応急手当講習実施要領

平成 27 年 8 月 24 日制定  
平成 29 年 6 月 29 日一部改正  
平成 30 年 5 月 1 日一部改正  
令和元年 5 月 22 日一部改正

## (目 的)

第 1 条 この要領は、応急手当普及推進員の認定を受けた者（以下「普及推進員」という。）が行う普通応急手当講習（応急手当普及活動）（以下「講習」という。）の実施に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

## (受講対象者)

第 2 条 受講対象者は、北海道内に居住又は勤務する者で、小学校 5 年生以上の者とする。

## (講習の項目及び時間)

第 3 条 講習の項目及び時間は、次のとおりとする。

- (1) 普通応急手当講習Ⅰは、別表 1 のとおり
- (2) 普通応急手当講習Ⅱは、別表 2 のとおり
- (3) 普通応急手当講習Ⅲは、別表 3 のとおり

## (講習効果の確認)

第 4 条 普及推進員は、講習を実施したときは、応急手当講習効果確認表様式(1-1、様式 1-2)により受講者ごとの講習効果を確認し記録するものとする。

## (修了証の交付申請)

第 5 条 普及推進員は、前条の講習効果の確認結果に基づき、公益財団法人札幌市防災協会（以下「当法人」という。）理事長に対し、普通応急手当講習修了証（以下「修了証」という。）の交付申請を行うものとする。

- 2 前項の交付申請は、普通応急手当講習修了証交付申請書（様式 6）に、普通応急手当講習受講者名簿（様式 7）及び応急手当講習効果確認表（様式 1-1、様式 1-2）を添付して行うものとする。

## (修了証の交付)

第 6 条 当法人理事長（以下「理事長」という。）は、普及推進員から第 5 条による申請があった場合、講習区分に応じた修了証（様式 3、様式 4、様式 5）を交付するものとする。ただし、所轄の消防長が普通救命講習修了証を交付することが可能な場合は、この限りでない。

- 2 理事長は、修了証を交付するにあたり、普通応急手当講習修了証交付台帳（様式 2）を作成して記録し、常用保存するものとする。

3 交付料は、1枚につき500円（税別）とする。

（講習用資器材の貸出）

第7条 当法人は、普及推進員が講習を実施する場合に、講習用資器材を貸し出すものとする。ただし、所轄の消防本部で対応可能な場合は、この限りでない。

2 普及推進員は、講習用資器材の借用が必要な場合に、応急手当講習用資器材借用申請書（様式8）により当法人に申請するものとする。

3 講習用資器材の貸出及び料金等については別に定める。

（事故防止）

第8条 普及推進員は、講習の実施に当たっては、受講者が安全に受講できるよう感染その他事故防止に努めるものとする。

附 則

この要領は、平成27年8月24日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年7月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和元年5月22日から施行する。

別表1 普通応急手当講習Ⅰ

項 目		時間 (分)	
応急手当の重要性 (心停止の予防等の必要性を含む)		15	
救命に必要な応急手当 (成人・小児に対する方法)	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法 (実技)	165
		AEDの使用法	
		異物除去法	
		効果確認	
	止血法		
合計時間		180	

別表2 普通応急手当講習Ⅱ

項 目		時間 (分)	
応急手当の重要性 (心停止の予防等の必要性を含む)		15	
救命に必要な応急手当 (成人・小児に対する方法)	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法 (実技)	165
		AEDの使用法	
		異物除去法	
		効果確認	
	止血法		
		心肺蘇生法に関する知識の確認 (筆記試験)	60
	心肺蘇生法に関する実技の評価 (実技試験)		
合計時間		240	

別表3 普通応急手当講習Ⅲ

項 目		時間 (分)	
応急手当の重要性 (心停止の予防等の必要性を含む)		15	
救命に必要な応急手当 (乳幼児・新生児に対する方法)	心肺蘇生法	基本的心肺蘇生法 (実技)	165
		AEDの使用法	
		異物除去法	
		効果確認	
	止血法		
合計時間		180	

応急手当講習効果確認表

氏名	番号	適の項目数	33項目	
区分	項目	適	否	
心肺蘇生法	安全を確認する。			
	傷病者の反応を確認したか。			
	周囲の人に助けを求めたか。「誰か来てください。」			
	119番通報とAEDを依頼したか。 「119番通報してください。」「AEDを持ってきてください。」 (または誰もいない場合、自分で119番通報したか)			
	呼吸の確認をしたか。(胸や腹部を見て普段どおりの呼吸の有無を判断したか)			
	呼吸の有無の判断を10秒以内で行ったか。			
	ただちに胸骨圧迫を開始したか。			
	正しい位置を圧迫しているか。 成人・小児：胸の真ん中(胸骨の下半分) 乳児：胸の真ん中(両乳頭を結ぶ線の少し足側)			
	毎分100～120回の速いテンポで圧迫したか。			
	約5cm(小児・乳児の場合は胸の厚さの1/3)沈み込むように深く圧迫したか。 成人・小児(体型により片手で実施)は両手で圧迫 乳児は2本指で圧迫			
	圧迫と圧迫の間は胸が元の高さに戻るまで解除したか。			
	気道を確保したか。(頭部後屈あご先挙上法)			
	人工呼吸をしたか。 乳児：人工呼吸の準備ができ次第、人工呼吸を開始したか。			
	人工呼吸を1回1秒かけて2回吹き込んだか。			
心肺蘇生法を30対2のサイクルで行っているか。				
AED到着から解析まで	AED到着後、傷病者の近くに置き、電源を入れたか。			
	年齢に応じて小児用電極パッド又は小児用モードを選択したか。			
	傷病者の胸部を確認したか。(胸部の乾き・ペースメーカー・経皮貼付剤)			
	傷病者が濡れている場合、胸部等をタオルで拭いたか。			
	電極パッド同士が重ならず、適切な位置に貼られているか。			
	傷病者の胸部にペースメーカーを確認した場合、ペースメーカーを避けて電極パッドを貼ったか。			
	傷病者の胸部に経皮貼付剤などを確認したら取り除いて電極パッドを貼ったか。			
「ショックが必要です。」のメッセージ	解析時は、誰も傷病者に触れないよう「みんな、離れて！」と声を出したか。			
	誰も傷病者に触れていないことを確認して、ショックボタンを押したか。			
	電気ショック終了後、すぐに胸骨圧迫を再開したか。			
「ショックは不要です。」のメッセージ	すぐに胸骨圧迫を再開したか。			
胸骨圧迫の交代	2人以上いる場合、1～2分を目安に胸骨圧迫の役割を交代したか。			
引継ぎ	救急隊が到着するまで、心肺蘇生を続けたか。			
	到着した救急隊に、傷病者の倒れた状況、心肺蘇生法及びAEDによる除細動実施回数等を伝えたか。			
総合判断	実施すべき処置の手順が正確で、処置内容に欠落はなかったか。			
記録紙の評価	人工呼吸実施回数の70%以上が適であること。			
	心臓マッサージ圧迫回数の70%以上が適であること。			
合計				

※ 合格基準：適の項目数が27以上であること。

※ 講習区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ共通


応急手当講習効果確認表


氏名		番号		適の項目数	10項目	
区	分	問		題	適	否
救命の連鎖	(1問)	出題内容は択一方式とし、逐次出題するものとする。				
止血法	(1問)					
気道異物	(2問)					
心肺蘇生法	(3問)					
A E D	(3問)					
合				計		

※ 合格基準：適の項目数が8以上であること。合格基準に満たないものは再試験とする。

※ 講習区分Ⅱのみ



<b>普通応急手当講習修了証</b>		
第	号	
氏名		
上記の者は普通応急手当講習 I を修了し、救命技能を有することを認定します。		
年	月	日
<b>公益財団法人 札幌市防災協会理事長</b>		
<small>講習指導担当者 応急手当普及推進員</small>		<small>印</small>


救命技能を忘れることなく、維持向上させるため 2年間隔で定期的受講することをお勧めします。
<b>公益財団法人 札幌市防災協会</b>

地色～白色 文字～黒色

認定証の大きさは縦 54mm 横 86mm とする。

# 普通応急手当講習修了証

第 号

氏名

上記の者は普通応急手当講習Ⅱを修了し、救命技能を有することを認定します。

年 月 日

公益財団法人  
札幌市防災協会理事長



講習指導担当者  
応急手当普及推進員

印




救命技能を忘れることなく、維持向上させるため  
2年間隔で定期的に受講することをお勧めします。


公益財団法人 札幌市防災協会

地色～白色 文字～黒色

認定証の大きさは縦 54mm 横 86mmとする。



<b>普通応急手当講習修了証</b>		
第	号	
氏名		
上記の者は普通応急手当講習Ⅲを修了し、救命技能を有することを認定します。		
年	月	日
<b>公益財団法人 札幌市防災協会理事長</b>		
<small>講習指導担当者 応急手当普及推進員</small>		<small>印</small>


救命技能を忘れることなく、維持向上させるため 2年間隔で定期的に受講することをお勧めします。
<b>公益財団法人 札幌市防災協会</b>

地色～白色 文字～黒色

認定証の大きさは縦 54mm 横 86mmとする。

## 普通応急手当講習修了証交付申請書

令和 年 月 日		
公益財団法人 札幌市防災協会 理事長 様		
普通応急手当講習を下記のとおり実施しましたので、講習修了者に対する普通応急手当講習修了証の交付を申請します。		
記		
申請書 (応急手当普及推進員)	フリガナ 氏 名	
	認定番号	第 号 (認定日 年 月 日)
	住 所	電話番号 ( )
	生年月日	年 月 日生 (満 歳)
	勤 務 先	
講 習 区 分	普通応急手当講習 ( I ・ II ・ III )	
講 習 日 時		
実 施 場 所		
対 象 者	団体名等 予定受講者数 人	
備 考		
受 付 欄	摘 要	

## 備 考

- 講習区分は、該当する講習に○印を記入すること。
- 普通応急手当講習受講者名簿 (様式 7) 及び応急手当講習効果確認表 (様式 1-1、1-2) を添付すること。  
(講習区分 I ・ III は様式 1-1 を、II は様式 1-1 及び 1-2 を添付)



## 応急手当講習用資器材借用申請書

		令和 年 月 日
公益財団法人 札幌市防災協会 理事長 様		
申請者	フリガナ 氏名	
	認定番号 (応急手当普及員又は 普及推進員)	第 号 (認定日 年 月 日)
	住所	〒 Tel ( )
	生年月日	年 月 日生 ( 歳)
	勤務先	法人名等 Tel ( ) Fax ( )
講習日時		令和 年 月 日 ( 曜日) 時 分 ~ 時 分 令和 年 月 日 ( 曜日) 時 分 ~ 時 分
講習先 詳細	施設(地域)名 イベント名称	<input type="checkbox"/> 配送先がこちらの場合はチェックして下さい。
	住所	〒
	担当者氏名 電話番号	Tel ( )
	予定受講者数	人
借用希望資器材数量		組
受取・返却方法		受取方法: <input type="checkbox"/> 直接受取 <input type="checkbox"/> 配送(宅配) 返却方法: <input type="checkbox"/> 直接返却 <input type="checkbox"/> 返送(宅配) 配送の場合の配達希望時間帯 <input type="checkbox"/> 午前中 <input type="checkbox"/> 12時~14時 <input type="checkbox"/> 14時~16時 <input type="checkbox"/> 16時~18時 <input type="checkbox"/> 18時~20時 <input type="checkbox"/> 20時~21時 <b>※配達希望時間帯の指定は必ず必要になります。</b>
規約確認		<input type="checkbox"/> 同意する <b>※同意は必ず必要になります。</b>
お支払い方法		<input type="checkbox"/> 現金支払 <input type="checkbox"/> 銀行振込
受付欄		貸出期間 令和 年 月 日 ( ) ~ 令和 年 月 日 ( )
<p>※講習用資器材 1組は、リトルアン1体、AEDトレーナー1台、気道確保用説明モデル1個とします。</p> <p>※送料は配送・返送いずれも実費とします。</p> <p style="text-align: center;">(連絡先) 公益財団法人 札幌市防災協会 〒003-0023 札幌市白石区南郷通6丁目北2番1号 URL <a href="http://www.119.or.jp/">http://www.119.or.jp/</a> Tel (011)861-1211 FAX (011) 271-0804</p>		